

女流義太夫普及公演

ぎだやう座

四月公演 入学

二〇二一年 四月一日(木)・二日(金)

すがわらでんじゆてならいかみ

菅原伝授手習鑑

一日

解説 竹本綾一

寺入りの段

浄瑠璃 竹本孝矢

三味線 鶴澤弥々

寺子屋の段

浄瑠璃 竹本越孝

三味線 鶴澤三寿々

(奥)

浄瑠璃 竹本土佐恵

三味線 鶴澤駒清

二日

解説 竹本駒佳

寺入りの段

浄瑠璃 竹本孝矢

三味線 鶴澤弥々

寺子屋の段

浄瑠璃 竹本越京

三味線 鶴澤津賀花

(奥)

浄瑠璃 竹本土佐恵

三味線 鶴澤駒清

ところ お江戸上野広小路亭 TEL03-3833-1789

山手線御徒町駅下車徒歩3分 地下鉄銀座線上野広小路駅 A4 出口すぐ

開演 午後6時20分(開場6時)

入場料 前売り1500円 子ども500円 (当日券はございません)

【完全予約制】定員になり次第終了

お申し込み (Email) jyogi.gidayuza@gmail.com

お問い合わせ 一般社団法人 義太夫協会

TEL03-6265-1880(月~金 11~16時) <http://www.gidayu.or.jp>



偶数月の
一日・三日は
お江戸の街



☆裏面もご覧下さい

菅原伝授手習鑑

寺入りの段

菅丞相(菅原道真)が太宰府へ流罪になった後、菅丞相より筆法伝授された武部源蔵と女房の戸浪は京の外れ芹生の里で菅丞相の一子菅秀才を実子と偽り寺子屋を開いて暮らしています。

師匠源蔵の留守で寺子屋の子供たちは騒々しくしている中、菅秀才は真面目に自習しています。

そこへ今日が寺入りの子供小太郎を連れて母親が訪ねてきます。

子供たちの世話をする戸浪から、今源蔵は留守と聞き、母親は我が子を戸浪に預け隣村に用事があると立ち去ります。

寺子屋の段

藤原時平の家来・春藤玄蕃から、菅秀才の首を渡すよう迫られ、青ざめた顔で帰宅した源蔵は身代わりはいないかと考えます。引き合わされた小太郎をこれぞ菅秀才の身代わりと見定めた源蔵は、妻戸浪に事情を打ち明け、弟子といえは我が子も同然「せまじきものは宮仕え」と嘆くのでした。

春藤玄蕃・松王丸の首実検も無事済み、ほっとしたのも束の間、小太郎の母親が戻ってきます。源蔵は母親に斬りかかりますが、母親から、小太郎を身代わりのお役に立ててくださったかと尋ねられ驚きます。再び松王丸が現れ、倅はお役に立ったと小太郎の母親である妻の千代に告げます。松王丸は、時平に仕えながらも菅丞相の恩に報い、菅秀才の身代わりとするために小太郎を寺子屋へ入門させ、自分が検分役を買って出たと明かします。更に、北嵯峨の隠れ家から救いだした御台所を招き入れ、若君菅秀才と対面させました。

白装束となった松王丸夫婦は、我が子の亡骸を若君に装って駕籠に乗せ野辺の送りをしたのでした。

【 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い 】

- * 37.5℃以上の発熱のある方、それ以外でも咳・痰の症状など体調の悪い方は来場をお控えください。
チケット代は後日返金させていただきます。
- * 入場時にはマスクの着用、手指の消毒をお願い致します。
- * 客席にはお連れ様同士でも間隔をあけてご着席頂き、会話はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- * 受付等のスタッフはマスク・フェイスシールド・手袋等を着用致しますので、ご理解のほどをお願い申し上げます。
- * 開演中も換気のため扉を開放致しますので、外部の音が聞こえる場合がございます。何卒ご了承ください。
- * 出演者への面会・差し入れはお控えください。
- * 会場備え付けのスリッパは使用できません。必要な方はご持参下さい。